

第1回臨時会（1月25日）

■成人式

1月7日、町内・町外合せて53人の新成人を迎え成人式を挙行いたしました。新成人から希望に燃える力強い「成人の誓い」が述べられ、厳粛の中にも和やかに式典を終えました。

■全道リコーダーコンテストの結果

1月11日札幌市で開催された「全道リコーダーコンテスト」において、活汲小中学校の児童・生徒の皆さんが、合奏・重奏の3部門で金賞、独奏の部で銀賞に輝き、そのうち小学校合奏、中学校合奏の2部門で全国大会出場権を獲得しました。

◎その他報告された事項

- 日豪EPAシンポジウム
- 津別スキー場の存続問題

第2回臨時会（2月26日）

■上里小学校閉校式典

1月27日上里小学校において、児童・卒業生・教職員・地域住民・教育関係者などが見守る中、閉校式典が挙行されました。92年の歴史に幕を閉じることは残念ですが、「山紫水明の里」として心の中に刻まれるよう願うところです。

■地域担当連絡員の配置

地域の様々な課題解決や地域づくりへのアドバイスなど、平成15年にスタートしましたが、本年2月より担当区域を細分化し、担当連絡員を再配置しました。今後とも、行政と地域づくりの核となる自治会と連携を進めていきます。

■日豪EPA交渉における農業分野での適切な国際規律の確立を求める署名

関税の撤廃により北海道農業が大きな打撃を受け、地域経済の崩壊に繋がりがかねない重要な問題であることから、町と農業関係団体等が、自治会の協力を得ながら署名活動に取り組み、4026人もの署名が集まりました。これらの署名は、内閣総理大臣あてに提出されることになっていきます。

◎その他報告された事項

- 寄附
- 小学生ソフトテニス大会
- 木のおもちや展
- 津別スキー場の存続問題

第3回定例会（3月12日）

■スキー場存続問題

結論の期限が迫る中、2月28日に（株）プリンスホテル役員と話し合いをもち、町から

は、スキー場の譲渡を受ける場合、将来の不測の事態に対応するため撤去、復元（植栽）費用の更なる支援を願ったところですが、プリンスホテルとしては、構造物にかかる撤去費用の全額を上限として支援するが植栽に係る費用は含めないというものでした。

プリンスホテルは、町が譲渡を希望しない場合は3月16日を目途に廃止決定したいとのことから、持ち帰り検討することとし、3月8日にスキー連盟、9日には商工会と今日までの経過を説明し、意見交換をしたところです。



一方、2月26日に、本町のスキー場経営に積極的な会社の役員が来庁し、スキー場経営に対する提案がされました。内容は、将来の独自営業に向け、プリンスホテルからの直接譲渡又は町が譲り受けた後

に再譲渡を受けたいとするものでしたが、その後プリンスホテルは、民間に直接譲渡する意思のないことが判明したことから、2つ目の方法について林野庁がどう判断するか問題で、早急に結論を出さなければならぬと考えています。

■友好都市等の関係

2月27日、姉妹都市の南アルプス市長を訪ね、今後の友好関係を確認させていただきました。また、3月1日には船橋市長と面会し、これまでに以上の友好関係をお願いしたところです。

■津別高等学校振興対策

公立高校入試において、津別高校の受験者は54人となりました。

合格者は別途発表になりますが、これにより2問口が継続することになりました。

しかし、次年度以降も少子化の影響と、道教委の新たな高校適正配置基準により、津別高校の存続は厳しい局面を迎えるものと予想されます。

今後の津別高校振興対策としては、「確かな学力」をつけ大学合格を目指す、資格取得に力を入れる、など弱点を補強・強化する方向性を明確にして、高校存続に努力していきたい。

■日豪EPA交渉の影響と暮らしを考える町民集会



3月7日、町と農協の主催により日豪経済連携協定交渉に関連し、網走支庁産業振興部長 巻口公治氏を講師として、「日豪EPA交渉がもたらす地域への影響について」の講話を中心に町民集会を開催いたしました。

■認知症予防講演会

3月7日中央公民館において、札幌市東区第2地域包括センター管理者の長井巻子さんを講師に、「認知症のお年寄りを地域で支えよう」をテーマに講演会を開催しました。

認知症への地域としての正しい理解と対応、さらには「いつしよに過ごす」ケアの大切さを学んだところです。

◎その他報告された事項

- 建設工事等の発注状況